

## Wernicke失語にみられる語性錯語の自覚の欠如と音韻性錯語の自己補正努力の乖離-意味と「語彙項目」の関係と後方領域損傷による失語症の連続性と差異-

古本英晴(ふるもと ひではる), 北野邦孝  
松戸神経内科

(要旨)典型的 Wernicke 失語 5 例の自発発話における語性錯語と音韻性錯語の自覚の有無と、自覚があった場合の自己補正の様子を観察した。また一部では復唱課題も行った。その結果、Wernicke 失語では語性錯語の自覚に乏しく、音韻性錯語は自ら誤りに気づき、復唱における誤りの補正と同様、伝導失語に類似した音韻の探索過程が認められた。以上から、Wernicke 失語では、動的情報処理過程としての語の音韻 templet への制御が不安定化していると考えられた。一方音韻性錯語に対する自覚は動的情報処理過程としての語の音韻 templet から発話に至る monitoring のいずれかの段階に障害があることを示唆するものと考えられた。これは復唱における誤りの補正が伝導失語に類似している点からも支持され、また基本的障害として Wernicke 失語と伝導失語に共通点があることを示唆するものと解釈できる。さらに言語における問題の中核とも言える意味は、意味領域としてまとまって存在するのではなく、情報処理過程レベル毎に階層性をもち、分散して脳内に表現されているものと考えられた。これらの視点に立つことによって、はじめて Wernicke 失語に見られる、press of speech や世界そのものの階層性と豊穡性を説明できるのではないかと考える。

Key words: Wernicke 失語, 語性錯語, 音韻性錯語, 意味, 世界

Wernicke 失語の自発発話における錯語の自覚について検討するため、家族による記録と診察場面での会話の様子を観察した。

**症例 1.** O.O. 70 歳, 右利き男性。2000 年 9 月 4 日発症の脳梗塞。病巣は左側頭葉から縁上回に一部かかり、中等度-重度の典型的 Wernicke 失語を呈する。

[1]自発発話における語性錯語(自覚しないため自己修正しない): あつい さむい, (テレビの)リモコン コード, 釣り糸 電線, 冷めたコーヒー ぼけたコーヒー, 歯 ボタン, 単語二つ ふたご, 目のほう 歯のほう, 背中が冷える 背中がやすい, ちょっと一服 ちょっといっぱく, カーテンを引く 糸を引く, 新聞 フィルム, 飛行機 自動車。

[2]自発発話における音韻性錯語(自覚するため自己修正努力が認められるか言いよどむ): コスモス キスモス 直そうとする。

家族の観察では、音の間違ひには気づきやすく、正しい音韻を求めて探索を繰り返す。へらブナ へりぶな, など語性錯語が音韻性錯語か判断に苦しむ発話の場合でも、実在する

語に置き換わると見なせる場合は自覚を伴わず修正努力は認められない。

**症例 2.** Y. A. 69 歳, 右利き男性。2000 年 10 月 10 日発症の脳梗塞。病巣は左側頭葉後方から頭頂葉下部で縁上回にかかり、典型的 Wernicke 失語を呈する。

[1]自発発話における語性錯語(自覚しないため自己修正しない): めれば ふれば, 行ってらっしゃい おかえりなさい, (雨が)降らないね やまないね, (窓を)閉めて 開けて, 扇風機 ストープ, (掃除機のコードを)長くしてくれ 短くしてくれ, (洗濯機のお知らせブザーが)なってるぞ ないているぞ, 9 月だからね 9 時だからね, それは白紙にした方がいい 白いにした方がいい, 27 日 27 分, (塗り薬を塗ってもらうときに)のばして, のばして のんで, のんで。

[2]自発発話における音韻性錯語(自覚するため自己修正努力が認められるか言いよどむ): 色黒 いらぐら, ゴマ ごも 言いにくそうで直そうとする。

リハビリ ニハミリ 言いにくそう。

かみなり かみのり, 梅干し うめども 何  
度も言い換える.

草むら くさぶり, なきべそ なきびそ  
hesitation あり.

パソコン パラコン, アンモニア アンモリ  
ン 言葉を思い出そうと努力した結果, 言い  
直しを繰り返し, 結果してアンモリンになっ  
てしまう. 納得している風でもない.

**症例 3.** Y. W. 70 歳, 右利き男性. 1998 年 1  
月 13 日発症の脳梗塞. 病巣は左側頭葉から頭  
頂葉下部にかかり, 中等度-重度の典型的  
Wernicke 失語を呈する.

[1]自発発話における語性錯語(自覚しないた  
め自己修正しない): シャツ ズボン, あつ  
い 寒いなどの逆を言う, 懐中電灯 カイチ  
ュウデンキ, (雨が)やんだ あげた.

[2]自発発話における音韻性錯語(自覚するた  
め自己修正努力が認められるか言いよどむ): 洪  
水 ホウスイ, ホウフクと直そうとする.

夏ばて ナツパコ

復唱は音韻性錯語になり, 伝導失語と似た自  
己修正を試みる.

**症例 4.** Y. A. 76 歳, 右利き男性. 1998 年 4  
月 5 日発症の脳梗塞. 病巣は左側頭葉から頭  
頂葉下部で縁上回を含み, 中等度-重度の典型  
的 Wernicke 失語を呈する.

[1]自発発話における語性錯語(自覚しないた  
め自己修正しない): 逆のことをいうが, 他  
人に指摘されて気づく事が多い.

[2]自発発話における音韻性錯語(自覚するた  
め自己修正努力が認められるか言いよどむ): と  
けい トレイ・・・とけい, と直す. めがね  
めがで, めかれ・・・めがね, と直す.

くうしゅう, くうしゅう, 九州, りく, りく,  
陸軍, たかてつ かわてつ病院. と直す.

復唱は音韻性錯語になり, 伝導失語と似た自  
己修正を試みる.

**症例 5.** N. A. 65 歳右利き女性. 2001 年 12  
月 10 日発症の脳梗塞. 病巣は左側頭葉後方皮  
質下白質で, 軽度 Wernicke 失語を呈する. 自  
発発話において音韻性錯語も語性錯語も少な  
い. しかしボールペンを鉛筆と, めがねをム  
ラサキと言い, 子供の名前を言い間違え, 自  
分では気付かないなど, 自覚のない語性錯語  
とみられる現象は観察される. これに対して  
音韻性錯語は呼称や自発発話ではほとんど出  
現しない.

**考察:**5 例の Wernicke 失語例を通して見ると,

1. 自発発話において語性錯語は無自覚であ  
り, 音韻性錯語は自覚を伴い自己修正の努力

が行われやすい, 2. 音韻性錯語の自己修正と  
復唱課題における誤りの訂正は極めて類似し  
ており, とともに伝導失語にみられる復唱課題  
における自己修正の方略と類似している, の  
2 点を指摘できる.

これらは, 以前報告した Wernicke 失語では,  
呼称における語性錯語が復唱課題における音  
韻性錯語と高い負の相関を示した結果と相同  
の関係にあると思われる. 実際, 自発発話に  
おける無自覚な語性錯語は, そのレベル自体  
で組織化され, 一定の低次の意味構造をもつ  
音韻 templet 過程への上位の意味 system から  
の制約条件としての制御が不安定になり, 十  
分目標 templet 過程を確定できないためであ  
ると同時に, 一旦作動した音韻 templet 過程  
に対する monitoring 機能が上位の意味  
system から離脱していることを示している.  
一方, 自覚され, 修正努力が行われる自発発  
話と復唱における音韻性錯語は音韻 templet  
過程自身の障害を示すと共に, 音韻 templet  
過程が独立して monitoring 機能を遂行する  
- 上位意味 system からの制御から離脱して  
いることに対応する- ことを示すものと考え  
られる. Wernicke 失語の発話は複雑な構造を  
もち, 情報処理の各段階でそれに見合う意味  
と上位からの制御, また発話と受容を結びつ  
ける monitoring 機能などの複数の要因から  
成り立つものと思われる. このバランスの破  
壊の程度により, jargon, 爆発的 press of  
speech などの現象や経過に伴う症状の変化が  
生じるものと思われる.

最も基本的で重要な仮定は意味領域と称し  
てきたものが単独ないしは modality ごと  
にあるのではなく, 世界を認識する情報処理過  
程の階層の各々の段階で存在し, いわば意味  
そのものが階層性をもつと考える点にある.  
それは世界そのものの構造として意味が階層  
性をもって開かれていることを示している.